

# キャンパスの歴史とともに歩む森

## BKC自然緑地

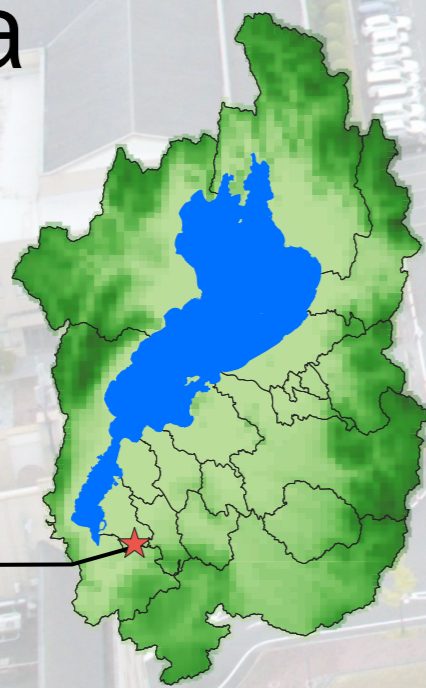
-学校法人立命館-

立命館大学びわこ・くさつキャンパス開設から30年以上にわたり保全を行い、教育・研究、地域連携のフィールドとして活用しています。

場所:滋賀県草津市

面積: 3.5 ha

BKC自然緑地



### サイト概要

本サイトは、滋賀県草津市の立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)の構内に位置しています。BKCの開設以来、30年以上にわたって自然環境を保全しており、かつての里山林の名残や農業用のため池、また特徴的な環境として“湿原”が存在しています。

### 地域等との連携

近隣の小中学生を対象とした自然観察会や大学教員によるセミナーなどの企画を開催し、自然環境のPRや生物多様性保全の普及啓発を行っています。

### 活動の内容

保全対象種の保全・育成、樹木の間伐、湿原の保全のための水の補給などのほか、動植物のモニタリングを実施しています。また、学生・教職員・地域住民と協力した保全活動や地域の子どもたちを対象とした自然観察会などの環境教育の場にも活かしています。さらに、本サイトに生息する地域在来樹木から採集した種子から苗木をつくり、他のサイトに配布を行っています。



自然観察会  
いきものさがし



サイト内で採集した土を使った  
微生物発電実験



### 大学に棲む食虫植物たち

食虫植物はご存じですか？その名の通り、虫を捕まえて食べる植物です。世界では600種類以上の生息が確認されているのに対し、日本で確認されているのは約20種類ほどです。

そんな食虫植物が立命館大学のサイト内には4種類も生息が確認されています。“湿原”という特殊な環境があるからこそ見られる、とても珍しいいきものたちです！



いきものマップ



ミミカキグサ



ホザキノミミカキグサ



トウカイコモウセンゴケ(左)  
コモウセンゴケ(右)



地下茎の捕虫嚢(ほちゅうのう)という  
袋状の器官でプランクトンなどを捕まえます

葉のねばねばした粘液で  
虫などを捕まえます

### 生物多様性の状況

里山林や農業用水に用いられていた自然池、さらに特徴的な環境として“湿原”を有しています。区域全体では300種以上の動植物の生息が確認されており、滋賀県版レッドデータブックに記載される希少な湿性植物やカヤネズミといった哺乳類、樹林性の鳥類や、昆虫類の生息が確認されています。

